

教育臨床心理学（担当：前田）平成22年度 夏学期 期末試験問題

受験上の注意

1. 教科書、授業中の配布資料、ノート、携帯電話、電子辞書の持込みは一切不可とする。
2. 試験時間は90分である。
3. 解答する順は問題順でなくてもかまわないが、どの問題の解答かわかるように、解答する際には問題の番号を明記すること。
4. 解答用紙の追加は認められない。与えられた用紙の範囲内で解答すること。

【問題1】生後1～2年の乳幼児期の経験がその後の性格形成に与える影響について、生物学的な知見およびアタッチメント理論の観点から説明せよ。

【問題2】うつ病はストレスの多い現代社会では多い病気といわれている。しかし、ストレスの多い環境ではみんながうつ病になるかという、そういうわけではない。うつ病になる人もいれば、ならない人もいる。このストレスが多い環境でうつ病になる/ならないということについて、うつ病の生物学的素因および心理学的素因という観点から述べよ。

【問題3】エツコさんという主婦がいる。家族は、夫、4歳のコータロー君、生後8か月のマリコちゃんという、ごくありふれた家族構成である。エツコさん一家が住んでいるのは、都心から電車で1時間半のところにある新興住宅地の団地で、半年前に引っ越してきたばかりである。夫は朝早く出勤し、夜遅く帰ってくるという毎日で、エツコさんは家事と子育てに専念している。エツコさんの目下の悩みは、4歳のコータロー君が牛乳をこぼした、ニンジンを食べないといったときに、つい大声を出して叩いてしまうことである。最近では、このようなことが毎日ある。特に子どもが嫌いというわけではなく、「ごく普通の」母親であるエツコさんが幼児を虐待する心理について、攻撃の情動表出説および核家族化という観点から説明せよ。

【問題4】人間の心的機能には安定した状態を保とうとするはたらきがある。このはたらきの1つとして、認知的に不整合（不斉合）な状態を嫌い、認知的に整合（斉合）の状態に移行しようとするものがあげられる。この認知的に不整合な状態を嫌い、認知的に整合の状態に移行しようとするということを、①認知的不協和の理論、②バランス理論のそれぞれの立場から説明せよ。

【問題5】①人間の心的機能にはモジュール性があるというモジュール説について、二重の分離という考え方から説明せよ。②モジュール説の立場に立って、アスペルガー症候群について説明せよ。